

# シラバスの見方

※この PDF ファイルには目次(しおり)がついています。スマートフォンを使用中の方は画面上の設定等から目次を呼び出してご利用ください。

授業科目名	①		
実務経験講師	②	実務経験	③
開講年度	④ 年度	学 期	⑥
年 次	⑤ 年次	授業回数	⑦ 回
単 位 数	単位	単位時間数	時間
授業科目の概要	⑧		
授業科目の到達目標	⑨		

## 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7		⑩	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用テキスト	⑪
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	
この授業科目から発展する主な科目	
成績評価の方法	
その他 受講生への要望等	

### ① 授業科目名

### ② 実務経験講師

講師に担当する科目に関する実務経験がある場合、「○」がついています。

実務経験とは・・・資格をもっているだけではなく、実際の施設等で資格を活かして働いた経験があるということ。

※一部を除き、違う学校で同様の科目を教えている等の教員経験は実務経験に含まれません。

### ③実務経験

担当講師の実務経験内容を簡単に記してあります。

### ④開講年度

### ⑤年次

授業を受ける学年です。

### ⑥学期

前期・・・4月～9月

後期・・・10月～3月

通年（全期）・・・1年間を通して、もしくは前期～後期にかかるどこかの期間で

### ⑦授業回数

### ⑧授業科目の概要

授業内容のたまかな説明です。

### ⑨授業科目の到達目標

授業が修了した時に到達すべき学修の目標です。

### ⑩授業スケジュールと内容

内容・・・1回の授業がどのような内容で構成されているか

授業方法・・・講義、演習、実習など

課題/小テスト・・・その授業の回に課題や小テストが課されている場合は記載されます。予習の内容が書かれている場合もあります。

### ⑪使用テキスト

授業で使用するテキストの情報です。プリント等オリジナル教材を使用する場合もあります。

授業科目名	人間関係論Ⅲ		
実務経験講師	—	実務経験	—
開講年度	2023 年度	学 期	前期
年 次	3 年次	授業回数	8 回
単 位 数	1 単位	単位時間数	15 時間
授業科目の概要	看護専門職として自己への癒し、自立訓練の必要性を学びます。更に、自分の言動が他者へ与える影響を考察します。		
授業科目の到達目標	1. 自己実現に向けて、自分の存在や他者の存在を考えることができる。 2. 自己、他者受容ができ適切な自己主張ができる。 3. 自己のタスクに向け評価・調整を図ることができる。		

### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	人が持っている「枠組み」 小講義「自己概念と人の成長」……テキスト P11～	講義 ワーク	
2	価値観が人間関係に与える影響 価値観とモチベーション	講義 ワーク	
3	「思い込み」と人間関係 エクササイズ『発想の転換』……テキスト P33～ エクササイズ『第一印象』……テキスト P36～	講義 ワーク	
4	双方向のコミュニケーション コミュニケーションのしくみ、コンテキスト、ノイズ、反応と確認	講義 ワーク	
5	サインを読みとく「目は口ほどにものを言う」、視線 観察をする、まなざし・姿勢・ジェスチャー・反応・空間	講義 ワーク	
6	コミュニケーションの実際 エクササイズ「自分の話し方、きき方の検討」…テキスト P58～ 傾聴すること、具体的表現と反応	講義 ワーク	
7	ラポールを築くとは モデリングとカメレオン効果 「観察力」をみがく	講義 ワーク	
8	感情の表出・わかる・心理的背景に心を開ける 小講義「ポジティブな感情表出とは」…テキスト P89～ アサーティブコミュニケーション	講義 ワーク	

使用テキスト	人間関係づくり トレーニング 金子書房
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	心理学 人間関係論Ⅰ・Ⅱ

この授業科目から発展する主な科目	専門分野Ⅱ 統合分野
成績評価の方法	授業テキストの提出及びワーク内容を総合的に評価する
その他 受講生への要望等	積極的に学習に参加してください。

授業科目名	看護の統合Ⅲ		
実務経験講師	○	実務経験	看護師
開講年度	2023 年度	学 期	後期
年 次	3 年次	授業回数	15 回
単 位 数	1 単位	単位時間数	30 時間
授業科目の概要	これまで学習した技術を複数の課題をもつ患者の看護の事例展開を行い、複合して技術提供することをシミュレーションし、安全安楽を考え、演習を通して学びます。実習において体験できなかった技術や、卒業後を見越した診療の補助技術について実際に想定した技術のまとめを行います。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業の健康管理について述べられる</li> <li>2. 複数事例を受け持つための情報収集の方法を述べられる</li> <li>3. 複数の患者を受け持ち、優先順位を考えた行動計画が立案できる</li> <li>4. 突発的事象に対し、自己の対応能力を認識した対処方法を判断する</li> <li>5. 突発的事象に対し、優先順位を考えて援助を実施する</li> <li>6. 臨床で遭遇しやすい突発的事象に対して他者と連携しながら、状況に応じた看護ケアを経験する</li> </ol>		

### 授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	産業看護①	講義	
2	産業看護②	講義	レポート①
3	<p>オリエンテーション</p> <p>配布資料：シラバス、評価表、記録用紙</p> <p>複数患者を受け持つための情報収集・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者を受け持つために必要な情報</li> <li>・受け持ち患者の情報源</li> </ul> <p>1日のスケジュールの立て方と業務時間の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優先順位を決定するための情報整理の工夫</li> <li>・業務時間の管理</li> </ul>	講義	レポート②
4	<p>入院時の情報収集の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アナムネ聴取</li> </ul> <p>事例紹介</p>	講義	レポート③ 事前学習
5	<p>多重課題の危険性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多重課題とは何か</li> <li>・多重課題遂行時の危険性について</li> </ul> <p>多重課題発生時の対処の原則</p>	講義	レポート④

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先順位の判断基準</li> <li>・安全な業務の遂行</li> <li>・夜間における多重課題への対処</li> </ul>		
6	事例1 看護計画立案① (アセスメント、看護問題、計画立案)	個人ワーク	受け持ち患者記録
7	事例1 看護計画立案②	グループワーク	
8	事例2 看護計画立案 (アセスメント、看護問題、計画立案)	個人ワーク グループワーク	受け持ち患者記録
9	事例3 看護計画立案 (アセスメント、看護問題、計画立案)	個人ワーク グループワーク	受け持ち患者記録
10	複数患者受け持ち時の行動計画立案①	個人ワーク	行動計画用紙
11	複数患者受け持ち時の行動計画立案②	グループワーク 発表	
12	突発的事象への対応①	演習 (クラス別)	
13	突発的事象への対応①	リフレクション (クラス別)	レポート⑤
14	突発的事象への対応②	演習 (クラス別)	
15	突発的事象への対応② まとめ	リフレクション グループワーク (クラス別)	レポート⑥

使用テキスト	既習で使用したテキスト全般
参考書・資料等	既習で使用したテキスト全般
この授業科目の前提となる主な科目	専門基礎分野、専門分野Ⅰ、専門分野Ⅱ全般、人間関係論Ⅰ～Ⅲ
この授業科目から発展する主な科目	科目全般
成績評価の方法	評価時期：終講時 評価対象および配分：別紙の評価表に準じて、事前学習内容および看護過程レポートにより評価する。
その他 受講生への要望等	3年間で修得した基礎知識・技術・態度をふまえて臨んでください。 提出物は、提出期限を厳守してください。期日を過ぎた場合には評価外とします。 本科目の単位修得は、卒業予定年次に履修することが条件となります。